

サンティアゴ島上水道システム整備計画【カーボベルデ】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	カーボベルデ共和国
(2) 案件名	サンティアゴ島上水道システム整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	カーボベルデ共和国（以下、カーボベルデという。）の首都があるサンティアゴ島全体をカバーする海水淡水化施設及び送水施設の建設を通じて島内各自治体の水道事業を連系させることにより飲料水供給の安定化及び安全な水へのアクセス改善を図り、もって同国国民の衛生・生活環境の向上及び同国経済の活性化に寄与するものである。さらに海水の淡水化による地下水資源の代替・保全に貢献することにより、同国の気候変動への適応に資する。 案件の内容 ・ 給水施設の建設 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成25年12月20日 イ 供与限度額：152.92億円 ウ 金利：0.10%（コンサルティング・サービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：40（10）年 オ 調達条件：タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、同国は慢性的な水不足の現状に対し、人口増加や各戸給水量の改善による需要増加が見込まれており、飲料水供給能力の増強、水供給の経済的効率性及び供給安定性の確保が喫緊の課題であった。また、同国の「統合的水資源管理計画」（2009年7月）において、水需要増加に対する対応として、海水淡水化施設の建設を進める方針が定められており、本事業は緊急性の高い優先事業と位置付けられていた。

	現在も、同国の国家開発計画である「持続的な発展に向けた戦略計画（PEDS II、2022-2026）」で水資源の開発は同国の喫緊の課題として引き続き重要視されており、本事業による貢献を加味して「2026 年までに給水率 100%の達成」の目標が掲げられていることから、本事業に関する社会的ニーズは引き続き高い。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 カーボベルデ政府の政策変更（水需要に対する地下水の活用及び 1 人当たりの水需要予測の変更）による事業規模縮小の対応、応札価格の上振れや新型コロナウイルスの影響等による契約交渉の長期化、入札不調の対応としての再入札の検討・準備により、遅延が生じている。 2022 年 8 月に再入札が行われ、競争性確保のために複数回にわたって入札期間が延長されるなどして長期化しているが、2024 年度内には契約締結を予定しており、2027 年度に工事完了の見込み。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続き高く、当初予定からスコープの変更はあったものの、事業完成後は引き続き同国のニーズに対応した事業効果が見込まれることから、支援を継続する。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料